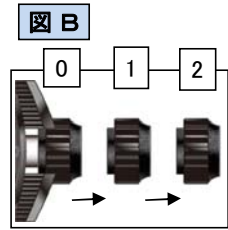


基本操作方法（各部名称）



※本製品は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラーウォッチです。

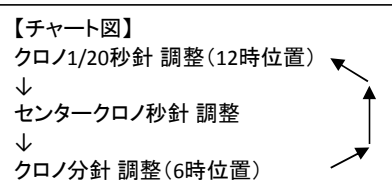
■時刻・カレンダーの合わせ方



(時刻の合わせ方) ※ねじ込み式リゆうずの為、ねじ込みを外した状態からの説明です。
 ①秒針がゼロを指しているときに、リゆうずの位置を「2」にする。(リゆうずを最も引いた状態)
 ②リゆうずを回して時刻を合わせ、時報に合わせてリゆうずの位置を「0」に戻す。
 ③リゆうずを押し込みながら奥に着座するまでしっかりねじ込んでください。
(カレンダーの合わせ方)
 ①リゆうずの位置を最も引いた「2」から少し戻した「1」の状態にし、時計回りに回すと日付が変わります。
 ②リゆうずをしっかりと押し込みながら着座するまでしっかりねじ込んで完了。※必ず行ってください。
 ※日付表示が切替わる時間帯の為、午後9時から午前1時の間は操作しないでください。
 ※2月4月6月9月11月は、翌月初めにカレンダー合わせが必要です。

■クロノグラフの針位置調整 ※図A及び図B参照 ①～⑦の順に切り替わりします。(⑦→②に戻ります)

- ①図Bの2のポジションにリユーズを引き出します。※時分針が動く状態です
- ②Aボタンを2秒以上押しと1/20秒針が1周回り、修正モードになります。
- ③Bボタンを押すと12時位置の「1/20秒針」が動きます。(1/20秒針の調整)
- ④Aボタンを2秒以上押しと「クロノグラフ針」が1周回り、修正モードになります。
- ⑤Bボタンを押すと「センタークロノ秒針」が動きます。(クロノグラフ針調整)
- ⑥Aボタンを2秒以上押しと「クロノ分針」が1周回り、修正モードになります。
- ⑦Bボタンを押すと「クロノ分針」が動きます。(クロノグラフ分針の調整)
- ⑧Aボタンを2秒以上長押しで②に戻ります。終わりましたらリユーズをしっかりと元に戻してください。



■ベルト交換・ベルトサイズ調整の仕方

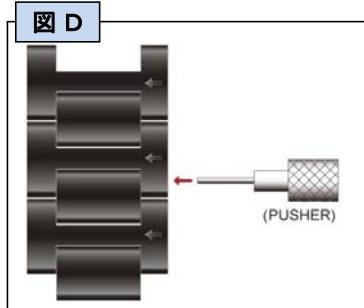


- ～ベルト交換の仕方～** ※図C参照 メタルベルト(標準仕様)
- ①図Cの矢印部分に付属の工具を差し込んでバネ棒を縮める。(ベルトの12時側、6時側それぞれ片側だけで簡単に外す事ができます)
 - ②新しく取り付けるベルトを用意し、取り外したベルトに使用していたバネ棒をセットする。
 - ③ベルトに取り付けたバネ棒の片側を時計本体図C部分に差し込み、反対側のバネ棒を縮めながらセットして取付完了。

- ★航空自衛隊仕様(メタルベルト) サイズ:約12cm～21cm 330g ※標準 耐久性のあるメタルベルトにブラックIP加工を施した定番仕様。
- ★陸上自衛隊仕様(パリストックナイロンベルト) サイズ:約16cm～22cm 134g 軽量で通気性に優れ、防弾チョッキにも使用される耐久性を持つアジャストフリー仕様。
- ★海上自衛隊仕様(ラバーベルト) サイズ:約13cm～21cm 134g 20気圧防水の本製品に合わせた耐水性・メンテナンス性の高い仕様。 ※重量・サイズは参考数値です。



- ～ベルト調整の仕方～** ※図D参照 メタルベルト(標準仕様)
- 裏側にある「矢印」の方向にアジャストピンを抜く事ができます。図Dを参考に、サイドにある穴に工具を差し込みピンを抜いてください。 ※ベルトコマを取り外す際に、ピン等なくさないように気を付けてください。 ※ベルトの調節等ご不明な点は、裏面「アフターサポート」にご相談ください。



- 【ご注意】**
- ・ベルト調整の際にはケガ等しないよう注意して行ってください。
 - ・メタルベルトの場合、コマ足し等のご要望につきましては、裏面のアフターサポートにご相談ください。
 - ・付属の工具は「ベルト交換用」となります。
 - ・ベルト調整用の工具(アジャストツール)は別途必要となります。弊社オフィシャルサイトをご参考ください。

■ TRIFORCE (S720M) の機能と構造



TACHYMETER ~タキメーター機能

おおよその走行速度等を測る機能です。1kmを何秒で走行したかによって、その区間の平均速度を算出します。

【使い方(例)】

- ①Aボタンを押し計測を開始します。
- ②「1km」走行したときにAボタンを押しSTOPする。STOPの際に表示している針位置で、その区間の平均速度がわかります。45秒→「80」を表示(平均時速80キロ)となる。

TELEMETER ~テレメーター機能~

光と音の速度差から距離を計測する機能です。雷の光と音、砲弾の光と着弾の音などから距離を測定できます。

【使い方(例)】

- ①雷が光った際にAボタンを押し計測を開始する。
- ②雷の音が聞こえたら再びAボタンを押しSTOPする。クロノグラフの秒針がとまった目盛の数値が雷のここまでの「距離」となります。15秒→約5km

耐磁・耐衝撃構造(その他)

- ※図E参照
- 【ガラス】サファイヤクリスタル
- 【ケース】ステンレス(ブラックPVD)
- 【ダイヤル】ソーラーメッシュ
- スーパーミノバ(強蓄光)仕様
- 【耐磁構造】3層遮蔽型構造
- 【耐衝撃】衝撃吸収材
- 【裏側スケルトン構造】

200m防水機能(20気圧防水)

20気圧をクリアした高い防水性は日常生活はもちろん十分な防水機能で時計本体を守ります。
※潜水防水時計ではありません。

図 E 耐磁・耐衝撃 構造図 ※参考



■ 本製品 (J-SOLAR) の機能について

【パワー消費警告(充電警告)機能】 ※電池残量1.2Vで警告表示開始、1.0Vで運針停止(通常1.5V)

電池残量が低下すると、警告表示として秒針が2秒間隔で動きます。
時計としての動力源保護のため、クロノグラフ機能については1.35V段階で停止となります。
秒針が通常運針する(1秒運針)するまで光を当てて充電してください。
※光の強さ等環境により充電の時間は異なります。充電時間の目安を参考に充電を行ってください。

■ ~本製品の上手な使い方~

本製品を快適にご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。
ご使用になる前に時計に光をあて十分に充電をしてください。(一度完全に停止すると、動き出すまでに時間がかかる場合があります)
一度フル充電すると一定期間は充電しなくても時計は動き続けますが、毎日の充電に心がけてご使用ください。
充電は時計の文字盤に日光や蛍光灯の光を当てる事で行われます。時計が停止している場合は、太陽光など強い光で充電してください。
この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)
※直射日光での充電をおすすめ致します。(時計を外した時も、できるだけ明るい場所に置くなど心がけてください)

■ 二次電池の交換について

この時計には電気エネルギーを蓄える二次電池が内蔵されております。
使用されている二次電池には、水銀などの有害物質は一切使われておりません。
この時計に使われている二次電池は充電を繰り返して行えるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間の使用による歯車の汚れや油切れなどにより、電流消費が大きくなり二次電池の消耗が早くなります。

■ 取扱上の注意

- ・充電時、時計が高温になると故障の原因となります。高温下での充電は避けてください。(例:車のダッシュボード、白熱灯やハロゲンランプなど高温になりやすい場所)
- ・水回りでのボタン操作、リュース操作は絶対におやめください。
- 時計内に水分が入り、曇りや水入りの原因となります。※故障の原因となります。
- ・弊社正規取扱店以外での修理およびご自身(個人)での修理は故障の原因になるばかりでなく、けが等につながる恐れがありますので絶対にしないでください。
- ・保証の適用は別紙保証書をご参照ください。

■ アフターサポート

製品に関するお問い合わせは、「ケンテックスアフターサポート」にお問い合わせください。故障その他定期的なメンテナンスを含むアフターサービスにつきましては、必ず弊社にご依頼くださいますようお願い致します。

ケンテックス アフターサポートダイヤル TEL:03-6803-0045

ソーラームーブメント仕様

- 稼働時間 6ヶ月(フル充電時)
- 充電時間 5時間(参考環境:100KLX 太陽光下)
65時間(参考環境:3,000LX 蛍光灯下)
- ※1,000LX=1KLX 太陽の平均:32KLX~100KLX
- ※充電時間はムーブメント仕様に基づく参考数値で、ダイヤル透過率30%の条件です(S720Mは50%以上)。

環境ごとの明るさの目安(JIS照度基準)

屋外(晴天)	100,000LX(100KLX)
屋外(くもり)	10,000LX(10KLX)
屋内	300W蛍光灯 3,000LX
(JIS 照度基準)	学校教室300LX ・店舗等300~500LX

製品仕様(ムーブメント仕様)

- ・型式 S720M (VS76A) 透過率50%以上
- ・仕様ムーブメント 日本製ソーラームーブメント
- ・水晶振動数 32,768Hz
- ・時間精度 月差±20秒(リスト装着時)
- ・作動温度範囲 -5℃~+50℃
- ・電池 チタニウム-リチウム-イオンセカンドバッテリー
- ※仕様は予告なく変更する場合があります。